

# エスワン 服薬記録 (術後補助化学療法版)

国指定 地域がん診療連携拠点病院

**市立豊中病院**

心温かな信頼される医療を  
提供する地域の中核病院



# もくじ

- ❁ 目次 【 p.2 】
- ❁ 胃がん手術後にエスワンの治療を受けられる患者様へ 【 p.3 ~ 4 】
- ❁ エスワン(先発品)の術後再発予防効果 【 p.5 】
- ❁ エスワンを1年間服用することの重要性 【 p.6 】
- ❁ エスワンの副作用 【 p.7 】
- ❁ 副作用が発現してしまったら 【 p.7 】
- ❁ 服薬日誌を記入しましょう 【 p.8 】
- ❁ 患者様・ご家族の皆様へ 【 p.8 】
- ❁ つらさの程度に応じた対処の仕方 【 p.9 ~ 10 】
- ❁ 服薬日誌の記入の仕方 【 p.11 】
- ❁ 服薬日誌 【 p.12 ~ 58 】



# 胃がん手術後にエスワンの治療を受けられる患者様へ

## 治療を受けられる前に

あなたは、今回の手術で胃がんを取り除くことができました。しかし今後、胃がんが再発する可能性もあります。あなたの場合、エスワンという飲み薬の抗がん剤を1年間服用することによって、胃がんの再発の可能性を少なくできることが分かっています。



この1年間のエスワン服用による再発予防の抗がん剤治療を受けていただくにあたり、お願いしたいことがいくつかあります。治療を継続していく上でとても大切なことですので、しっかり理解してください。

①この服薬記録と「服用のてびき」という小冊子をご熟読いただき、治療内容を十分にご理解ください。



②治療開始にあたっては、もし虫歯や歯槽膿漏など口腔内の治療が必要な場合は治療開始時までには治療を終わらせてください。



③あなたに「かかりつけ医」がいらっしゃる場合は、病院とかかりつけ医の二人の医師があなたの担当医となり、連絡を取りながら治療を行っていきます。休日や夜間など緊急を要する場合は病院救急外来へご連絡ください。



④詳しくは後でお話ししますが、この服薬記録はエスワンというお薬による重篤な副作用を防ぎ、治療を安全に継続



していただくためのものです。最近の研究では、患者様ご自身が認識される自覚的症状を医師や薬剤師などメディカルスタッフは軽く評価してしまう傾向であることが分かっております。従って、あなたご自身が正確にエスワン服用時の症状と程度を毎日記録し、あなたご自身が日常のエスワンというお薬の服薬の可否をご判断頂くことが、より高い治療効果に繋がるものと考えます。

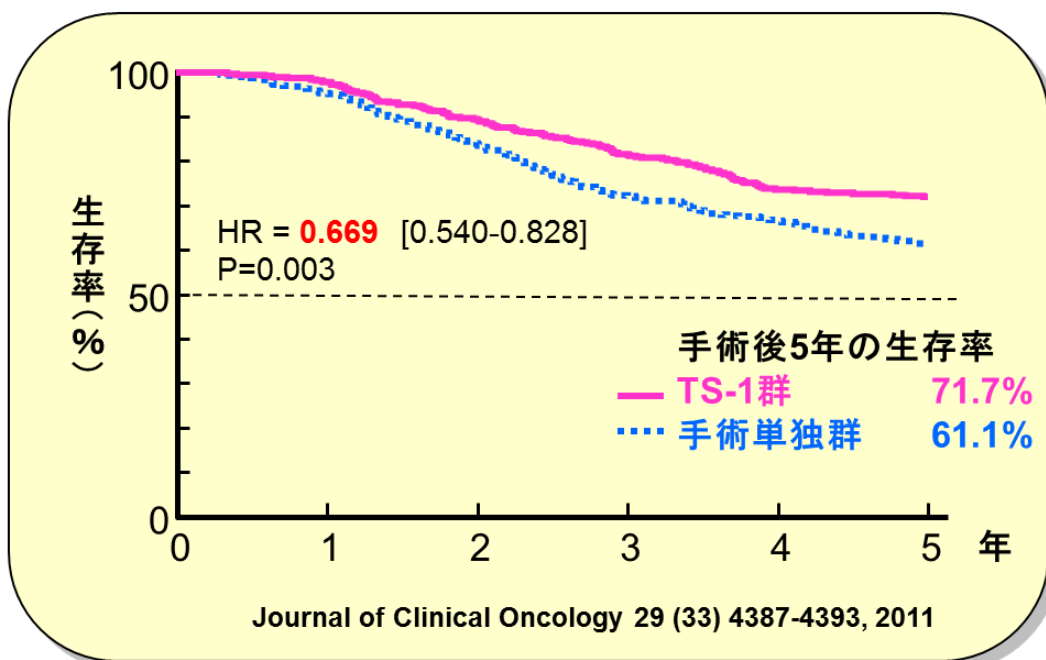
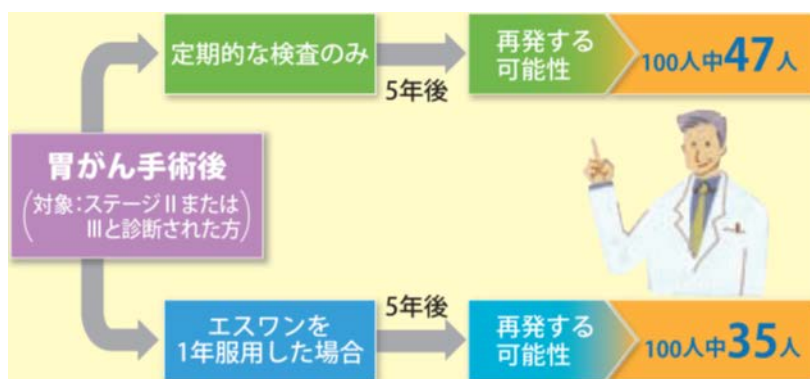
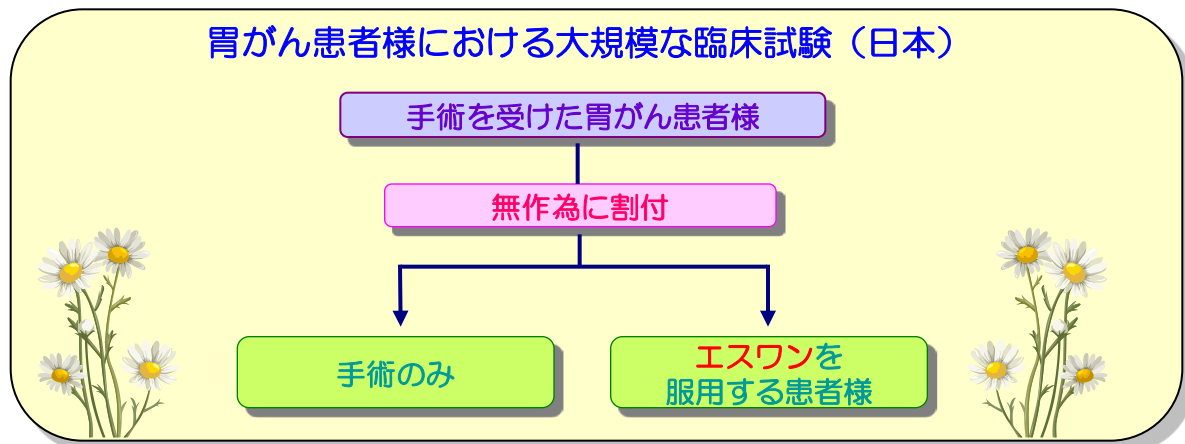
⑤もし、気になる症状が発現した場合、担当医や薬剤師・看護師にご相談ください。また、例えば涙目など気になる症状が出た場合は眼科医や主治医への相談・受診をしてください。



# エスワンの術後再発予防効果

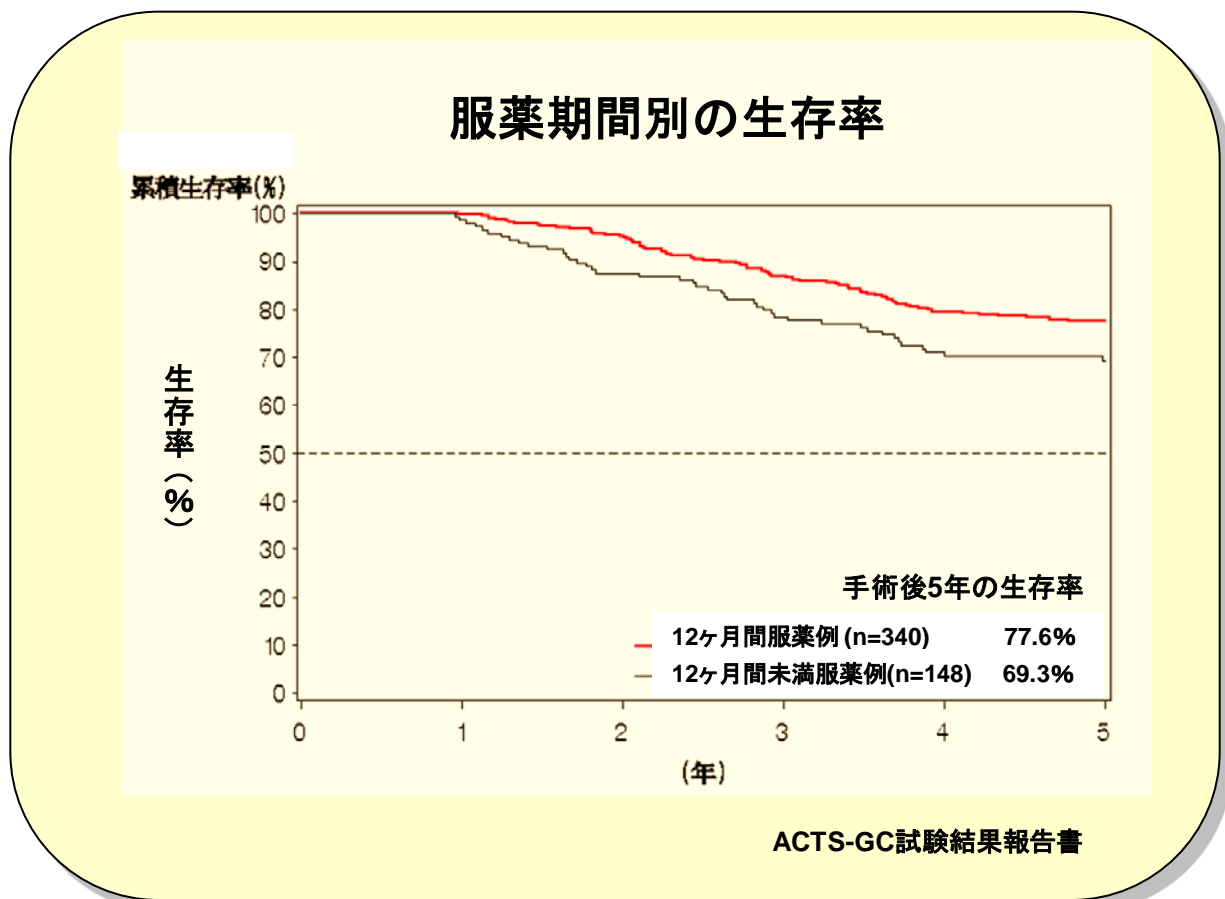
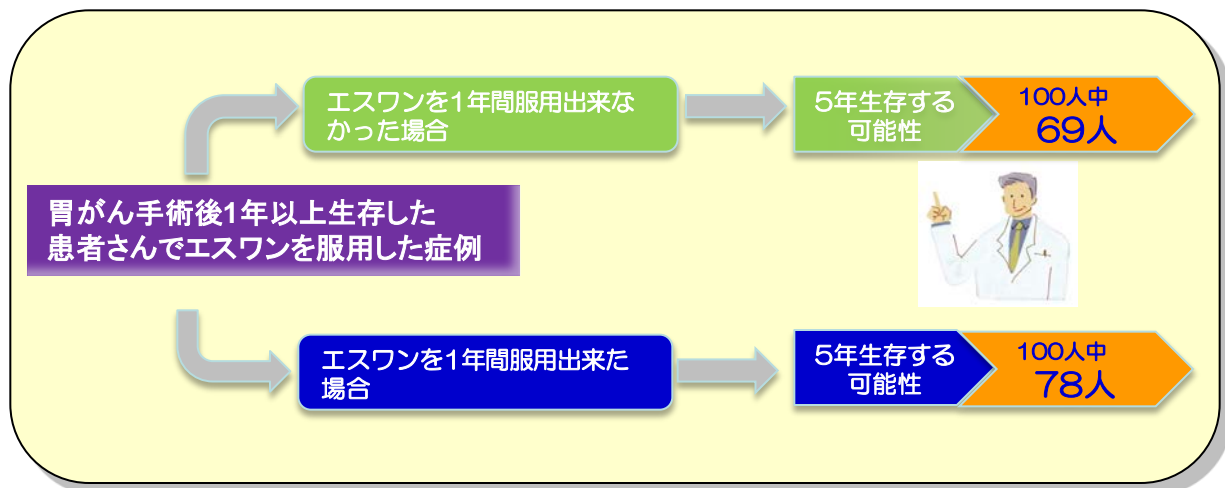
日本で行われた臨床試験の結果を下に示します。  
胃がんの手術後にエスワンを1年間服用することによって、約10%の再発率や生存率の改善が認められました。

胃がん患者様における大規模な臨床試験（日本）



## エスワンを1年間服用することの重要性

前述の臨床試験でエスワンを服用された患者様のうち、予定通り1年間きちんと服用できた患者様と、副作用などにより途中で服用を止めてしまった患者様との間で、約10%の生存率の違いがありました。したがって、エスワンを1年間きちんと服用することはとても重要なことなのです。



## エスワンの副作用

エスワンの副作用は、血液検査の異常と患者様がつらいと感じる症状の2つに大別されます。血液検査の異常は担当医による定期的な血液検査できちんと評価されますが、患者様がつらいと感じる副作用については、患者様自身がそのつらい副作用の種類と程度を毎日記録して診察時に担当医にきちんと伝えることがとても重要です。



## 副作用が発現してしまったら

しっかり服薬を続けるということは、副作用の症状がつらいのに我慢して飲み続けるということではありません。我慢して飲み続けることで、かえって症状が悪化し、がん治療ができなくなることもあります。従って、服薬がつらい時は思い切って休み、症状が回復してから服薬を続けることが治療効果を上げるためには重要です。P.9～10の「**つらさの程度に応じた対処の仕方**」を参考に、服薬日誌をご自身できちんと記載し、服薬を継続するか、休薬するか、あるいは病院に連絡するかなどの判断をご自身できちんとおこなってください。

なお、4週間の投薬中に服薬をやめられ、服薬できる状態まで症状が回復された場合、その後予定されている2週間の休薬期間のうち最初の1週間の休薬期間中に残っているエスワンを服薬いただいても結構です。ただし、残りの1週間はきっちり休薬しましょう。





## 服薬日誌を記入しましょう

服薬状況や気になる症状などを記入する「服薬日誌」をご用意しています。エスワンは前にも述べましたように、術後1年間飲み続けます。したがって、飲み忘れの防止や副作用の早期発見のために「服薬日誌」を活用し、毎日ご自身でご記入戴くと共に、診察時に担当医や看護師・病院ならびに保険薬局の薬剤師に見せましょう。安易な飲み忘れやいいかげんな服薬では再発予防効果は低下します。逆に、強い副作用が出ているのに服用を継続するととても危険です。服薬日誌をきちんと記入し、日々の服薬判断をきちんとおこなって下さい。



## 患者様・ご家族の皆様へ

抗がん剤の効果を最大限に発揮できるようにするためには、患者様ならびに患者様のご家族の抗がん剤治療へのご理解やご協力が極めて重要です。また、最適な医療を受けていただくために、担当医や薬剤師・看護師等がチームとなって、患者様やそのご家族の支援をおこなっております。また、周辺の開業医(かかりつけ医)との地域連携の推進もおこなっております。こういった医療体制をチーム医療と言います。最後に、がんに関する疑問、不安や悩みなどございましたら、何なりとご相談ください。





## 市立豊中病院 基本理念

豊中市の地域中核病院として



「心温かな信頼される医療」を提供します



# つらさの程度に応じた

つらさの程度	1	2
どうする？	続けて薬を飲みましょう 	症状が1以下に回復するまで服薬を休みましょう 
はきけ	服薬当日、1~2回吐き気がしたが、すぐに治まった。	服薬当日、3~5回吐き気が続いた。
食欲	なんとなく食欲がない	ふだんの半分くらいしか食べられなかった。
だるさ	体のだるさを感じたが、すぐに治まった。	一日中だるさが続いた。
下痢	下痢気味になった（一日当たり2~3回であった）。	下痢が続き、一日当たり4~5回であった。
口内炎	症状がない口内炎ができた。	痛みを伴う口内炎ができ、ご飯が食べづらい。
皮膚	顔や手・爪が部分的に黒くなってきた。	痛みを伴う赤み・腫れがある
発熱	平熱	37~37.5℃未満
なみだ目	なみだ目に気づいた（ソフトサンティア点眼 5~6回/日）	回復しないか悪化してきた生活に支障があり困る目薬が面倒で困る

# 対処の仕方

3	4
<p>次の診察まで服薬をお休みしましょう</p> 	<p>すぐに病院に連絡するか、病院に行きましょう</p> 
<p>吐き気が続いて、一日中何も食べられなかった。</p>	<p>休薬した翌日から2日間以上、吐き気が続く</p>
<p>食欲がなく、一日中何も食べられないが、水は飲める。</p>	<p>休薬した翌日も何も食べられず、水も飲めない。</p>
<p>だるくて、一日中日常の用事が出来なかった。</p>	<p>休薬したにもかかわらず翌日もだるさが続き、何もできない</p>
<p>下痢が続き、一日当たり6~7回であった。</p>	<p>水のような便も出て、一日当たり8回以上も下痢が続いた。</p>
<p>痛みで、一日中何も食べられなかった。</p>	<p>休薬した翌日も痛みで何も食べられない</p>
<p>痛みを伴う水疱、出血、ひび割れ、赤い斑点やぶつぶつができた。</p>	<p>休薬しても皮膚症状が治らない</p>
<p>37.5~38.0℃未満</p>	<p>38.0℃以上</p>
	<p>かすみ目・痛みがある視力が低下してきた</p>

# 服薬日誌 (記入例)

日付	1月10日		1月11日		1月12日		1月13日		1月14日		1月15日		月	日
曜日	木		金		土		日		月		火			
朝夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕
体重	55.5 Kg		55.0 Kg		55.0 Kg		55.5 Kg		55.0 Kg		55.0 Kg		Kg	
体温	36.4 度		36.6 度		36.5 度		36.7 度		36.6 度		36.5 度		度	
服薬数	2	2	2	2	2	×	2	2	×	2	2	×		
服薬スケジュール (4) 週服薬 (2) 週休薬														
はきけ		1				2								
食欲		1				2								
だるさ														
下痢							1		2					
口内炎											3			
皮膚														
なみだ目														

気になったこと、伝えたいことなどをメモしましょう。



1月10日 夕方、吐き気がしたが、就寝前には治まった。

1月12日 朝から吐き気が続き、夕飯を少し食べたが吐いた。

1月15日 口内炎の痛みで、1日中食事が取れなかった。

月 日

月 日

月 日

## 記入方法

日付けを入れ、体重・体温を測り、飲んだ薬の数を服薬数の欄に記入して下さい。なお、調子が悪かったなど飲まなかった時は、服薬欄に×印を付けてください。

(飲み忘れても絶対に2回分を一度に飲まないでください。)

副作用が出た時は、p7「副作用が発現してしまったら」およびp9~10の「つらさの程度に応じた対処の仕方」を元に副作用欄につらさの程度(1~4)を付けて、メモ欄に症状を記入し、次の診察時に担当医・薬剤師・看護師に伝えましょう。

## 朝夕に、あなたが飲む薬の数を記入しましょう

飲む薬	朝食後 ☀	夕食後 *
OD錠(うすい青緑)	錠	錠
OD錠(うすいたいだい)	2 錠	2 錠



## 医療スタッフ間の連絡記載欄

送信者	メッセージ	受信者	返信メッセージ
○ ○ 薬局 △ △	患者さんより、最近、涙が出やすくなったとの訴えがありましたので、次回診察時に□□先生に相談して戴くよう、指示しました。	豊中病院 □ □	ソフトサティアの点眼を1日5~6回おこなって戴くよう、説明致しました。

# 服薬日誌

日付	月 日		月 日		月 日		月 日		月 日		月 日		月 日			
曜日																
朝夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕		
体重	Kg		Kg		Kg		Kg		Kg		Kg		Kg			
体温	度		度		度		度		度		度		度			
服薬数																
服薬スケジュール												( ) 週服薬 ( ) 週休薬				
はきけ																
食欲																
だるさ																
下痢																
口内炎																
皮膚																
なみだ目																

気になったこと、伝えたいことなどをメモしましょう。



月 日

---

月 日

---

月 日

---

月 日

---

月 日

---

月 日

---

## 記入方法

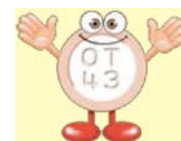
日付けを入れ、体重・体温を測り、飲んだ薬の数を服薬数の欄に記入して下さい。なお、調子が悪かったなど飲まなかった時は、服薬欄に×印を付けてください。

**(飲み忘れても絶対に2回分を一度に飲まないでください。)**

副作用が出た時は、p7「**副作用が発現してしまったら**」およびp9～10の「**つらさの程度に応じた対処の仕方**」を元に副作用欄につらさの程度(1～4)を付けて、メモ欄に症状を記入し、次の診察時に担当医・薬剤師・看護師に伝えましょう。

## 朝夕に、あなたが飲む薬の数を記入しましょう

飲む薬	朝食後 ☀	夕食後 *
OD錠(うすい青緑)	錠	錠
OD錠(うすいだいだい)	錠	錠



## 医療スタッフ間の連絡記載欄

送信者	メッセージ	受信者	返信メッセージ

# 市立豊中病院

TEL 06-6843-0101 (代表)

あなたのお名前

さん

かかりつけ医

(電話 — — )

電話

—

病院

—

科  
(代表)

改訂：平成29年8月